

障がいのある人と一緒に躍動

半田 日福大生が企画運動会

障がいの有無にかかわらず誰でも参加できる「2024みんなの運動会」が15日、瀧上工業雁宿ホール(半田市雁宿町)であった。日本福祉大の学生32人が企画、運営した。

新型コロナウイルス禍以降、運動会が縮小されたり中止されたりする特別支援学校が増え、障がい者が参加できる機会が限られていることを受けて実施。学生らは7月から活動を始め、11月に練習会を開くなどして準備を進めてきた。

肢体不自由な小学3年生の14家族が参加。学生のサポートを受けながら、練習会での当事者の声が反映されたポッチャや輪投げ、大玉おくり競走などを



狙いを定めて輪投げをする参加者④ 半田市雁宿町の瀧上工業雁宿ホールで

楽しんだ。

ひいらぎ特別支援学校高等部3年の さん

は「ポッチャで得点がいっぱい入って楽しかった。高得点が入ったときに学生がハイタッチしてくれてうれしかった」と話した。

(内山陽貴)